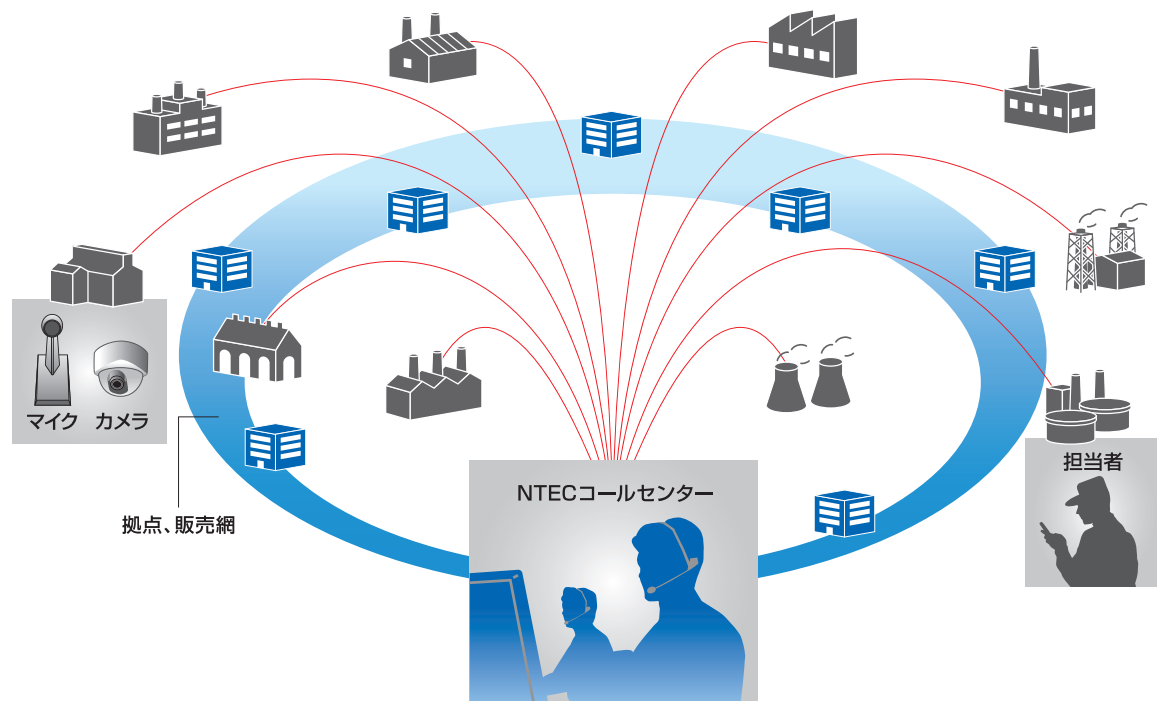


遠隔監視システム

24時間・365日の運転管理&メンテナンスの通信システムです。画像＋音声＋データ通信を活用した先進のネットワークにより、お客さまのボイラを守り、いつでも迅速かつ的確なサービスをお約束します。



遠隔監視システム6つのメリット

- 遠隔監視による迅速なトラブル対応
- NTECグループの専門知識でお客さまをバックアップ
- 遠隔監視による安心感
- 補修時間の短縮
- 資産価値の向上
- 保守契約によるライフサイクルコストの低減

詳しくは担当者へお問い合わせください

株式会社 日本サーモエナー

本社／〒108-0071 東京都港区白金台3-2-10 (白金台ビル)
TEL.(03)6408-8251 FAX.(03)6408-8278

<https://www.n-thermo.co.jp>

北海道支社 札幌支店 ☎(011)789-5281 旭川営業所 ☎(0166)21-5770 釧路営業所 ☎(0154)31-9211 函館営業所 ☎(0138)87-5001 千歳営業所 ☎(0123)29-7902 東北支社 仙台支店 ☎(022)244-5181	山形営業所 ☎(023)629-7378 郡山営業所 ☎(024)990-1852 盛岡支店 ☎(019)635-3366 秋田営業所 ☎(018)887-5630 南関東支社 東京支店 ☎(03)6408-8260 立川営業所 ☎(042)535-8701	山梨営業所 ☎(055)242-2570 横浜支店 ☎(045)948-3911 厚木営業所 ☎(046)221-1911 千葉支店 ☎(043)235-0071 つくば支店 ☎(029)833-6155 水戸営業所 ☎(029)244-5720	北関東支社 埼玉支店 ☎(048)660-2331 宇都宮営業所 ☎(028)613-0331 高崎支店 ☎(027)350-7230 松本営業所 ☎(0263)48-3815 長野営業所 ☎(026)286-0341 新潟支店 ☎(025)283-0171	長岡営業所 ☎(0258)20-5202 中部支社 名古屋支店 ☎(052)509-5211 三重営業所 ☎(059)213-5980 北陸支店 ☎(076)223-4001 富山営業所 ☎(076)421-1131 静岡支店 ☎(054)245-0253	浜松営業所 ☎(053)464-0253 関西支社 大阪支店 ☎(06)6488-2233 高松営業所 ☎(087)864-5755 神戸支店 ☎(078)579-6150 姫路営業所 ☎(079)281-6227 南大阪支店 ☎(072)226-5165	京都支店 ☎(075)935-2541 中国支社 中国支店 ☎(082)503-1606 岡山営業所 ☎(086)800-7700 山陰営業所 ☎(0859)34-6577 山口営業所 ☎(083)972-2666 九州支社 九州支店 ☎(092)711-1511	北九州営業所 ☎(093)963-5550 大分営業所 ☎(097)554-2322 熊本営業所 ☎(096)328-9811 鹿児島営業所 ☎(099)255-3801 京都工場 ☎(075)935-2500 関東工場 ☎(029)833-6110
---	--	--	--	---	---	---	--

関連会社

株式会社 NTECケミカル
株式会社 NTECエンジニアリング
株式会社 NTECサービス
NIPPON THERMOENER (THAILAND) CO.,LTD.
株式会社第一産機

ISO 9001 認証取得



ISO 14001 認証取得



● 記載事項は予告なく変更することがありますので、ご了承願います。

K0E1101
2025.05N

熱媒油ボイラ サーモヒーター

NH-10A NH-20A NH-20B NH-30A NH-30B NH-40A NH-60A NH-80A
NH-100A NH-125A NH-150A NH-200C NH-250C NH-300C



NH-60A

NIPPON THERMOENER CO., LTD.

株式会社 日本サーモエナー

はじめに

サーモヒーターは、『ボイラならタクマ』という信頼を得て、蒸気ボイラの製造に関する長年の経験と実績を基に、使いやすさ・高性能・安全性・熱媒の劣化対策等について十分考慮して開発した熱媒油ボイラで、機能を重視した設計により、スケールメリットが大きく得られます。

熱媒油ボイラについて

こんなに便利な装置です

高温が常圧（循環に必要なポンプ圧力程度）で得られます

熱媒油ボイラは水の代りに熱媒油を用います。水は100℃以上では圧力を生じ、例えば250℃で約4.0MPa、340℃で約15.0MPaというように圧力が急上昇します。このためプラントを高圧装置にしなければならないと共に厳重な安全装置、水処理が必要となりますが、熱媒油ボイラにはその必要がありません。

運転コストが安くなります

密閉サイクルで熱媒油を循環して間接的に使用しますから、もれ、フラッシュ・ブローダウン・ドレンなどによる損失（通常約10～15%にのぼる）がなく、また運転時の電気動力もわずかなため運転コストが安くなります。

凍結のおそれがなく水処理もいりません

水を使用しないため凍結のおそれがなく、また水処理装置、清缶剤の連続注入も不要で運転、維持管理に手間がかかりません。

温度ムラを防ぎ均一な加熱ができます

熱媒油ボイラは熱媒油を液相で使用するため小さな配管径でよく、長距離配管でもほとんど温度が下がりにません。また温度ムラを防ぎ均一な加熱ができます。

精密な温度制御ができます

温度、熱量のコントロールが自由にでき、精密な温度制御も容易にできます。

1台のボイラで各種用途に使えます

1台のボイラで温度条件の異なる多くの用途に使用できます。加熱と冷却を併用する事も可能です。

設置事例



NH300 屋外設置型



NH200 エアヒーター付

用途

あらゆる産業で活躍しています

サーモヒーターは合理化の決め手。

生産性・品質の向上に威力を発揮し、次のような用途に幅広く採用されています。

船舶
タンク加熱



繊維工業
乾燥
加熱
染色



金属工業
油浴
熱処理
乾燥



クリーニング
シーツロール



塗装工業
メッキ
樹脂硬化



電子工業
含浸
乾燥
プレス



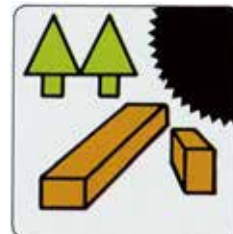
空調
ストリップヒーター
熱交換器
ベースボードヒーター
コンベクター



化学工業
反応
蒸溜
乾燥
脱臭
濃縮



木材工業
ホットプレス
ドライヤー



合成樹脂工業
プレス
ローラー
成型
押出



製紙工業
シリンダー
ローラー



建設工業
アスファルト加熱
融雪



コストの安い熱利用

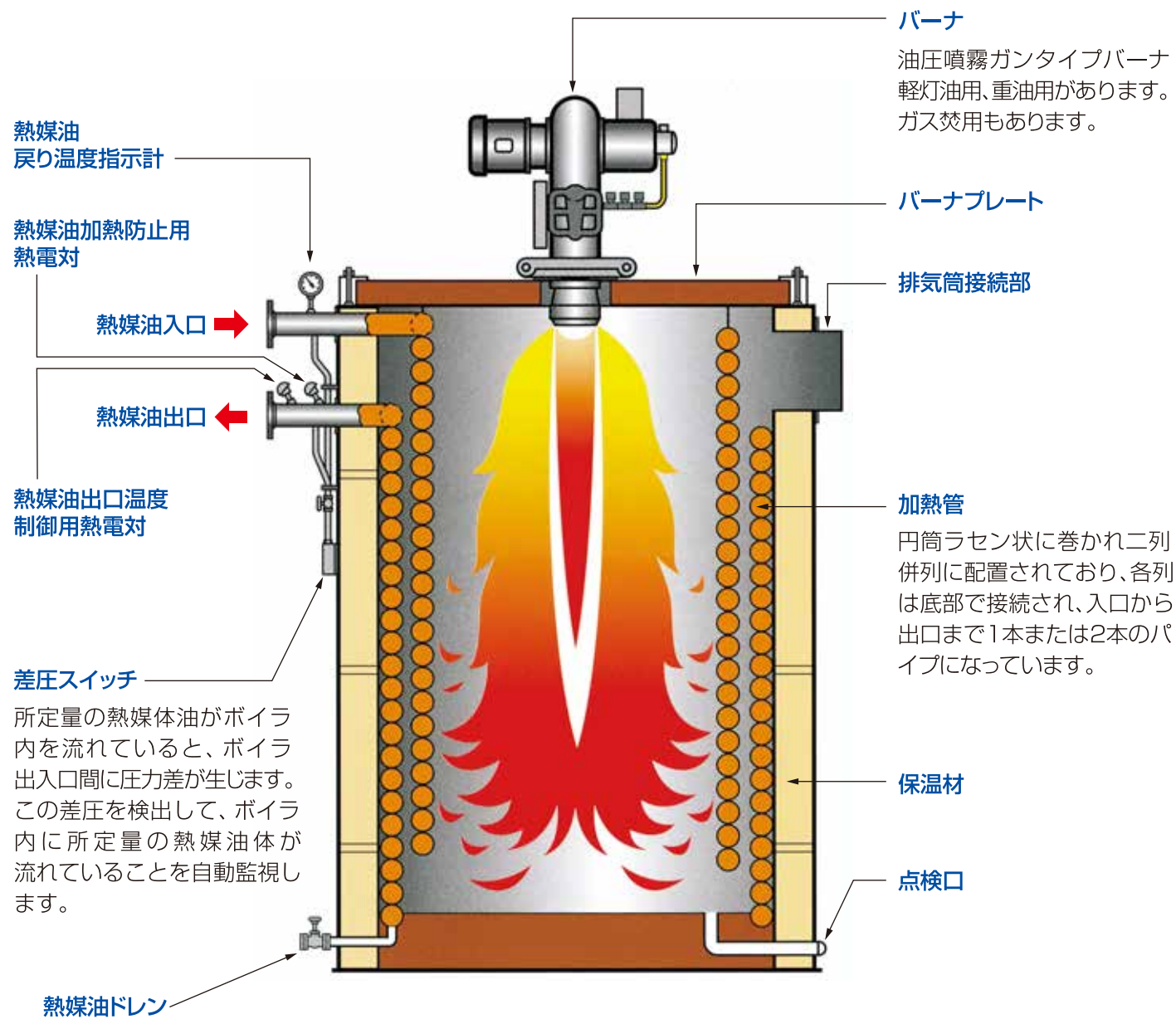
構造 経験と技術の結晶です

燃焼室は円筒ラセン状に巻かれた加熱管および底部耐火材で構成され、加熱管の両端は熱媒体油出口と熱消費装置からの戻り油の入口とになっています。

燃焼室外部は十分な保温が施され、その外側を美しい外装でおおっています。

バーナは上部に取付けられ、トップファイヤリングであり、燃焼ガスは燃焼室下部より加熱管空隙を通り、排気筒に集合します。

また低質燃料油の使用もでき、完全燃焼します。



特長① さすがと云われるメリットがいっぱい

① 伝熱面の配置が合理的です

加熱管は受熱量に応じた管内流速をもつ口径を選定し、局部過熱が生じないように配置されています。
また十分な伝熱面積をもち、管壁における熱媒油境界膜温度をおさえ、劣化を防止します。

③ 高効率で燃費が軽減します

300℃運転で80%の効率であり、燃料費が大幅に節減できます。（ご使用温度により効率は若干変化します）
廃ガス利用のエアヒータ設置も対応致します。
（条件により92%まで可能）

⑤ 循環ポンプの冷却水は不要です

熱媒油循環ポンプは空冷式ポンプを標準装備していますので冷却水は一切いりません。
（300℃以上でご使用の場合は除きます）
ご要望によりキャンドモーターポンプも対応致します。

② 高温酸化を起こしません

付属の膨張タンクと油だめの組合せで、運転中に高温熱媒油が空気に触れることがなく、高温酸化を防ぐシステムにしています。（5頁参照）

④ 充実した安全装置を完備しています

万一異常の時は、各種の安全装置が自動的に作動し、ボイラを保護すると同時に警報を出します。

⑥ 据付が容易です

ボイラ本体とコントロールパネルは共通ベース上に組立てられており、現地での据付が簡単です。

⑦ アフターサービスが充実しています

全国45ヶ所の事業所と特約メンテナンス店で24時間サポートいたします。

特長② サーマルエンジニアリングを行います

ボイラが優秀でも、熱消費装置との関連がうまくエンジニアリングされていなければ、適切な熱供給が行われません。
当社は、各種の熱消費装置に直結した配管技術、精密な温度制御の技術を豊富に蓄積しており、様々なシステム設計・工事施工に対してご協力致します。

特殊仕様

- 熱出力3,488kW/h以上の容量も製作します。
- 300℃を超え～350℃、およびシリコン系高温熱媒油を利用した390℃対応の機種も製作します。
- 副生油、副生ガスを燃料とするボイラも多数実績があり、様々な燃料に対して個別対応致します。
- 比較的使用温度の低い用途には、特殊熱媒水（エチレングリコール）を使用する事により、常圧で95～130℃の液層使用システムも計画します。
- 高温水利用システム（有圧）としても利用できます。蒸気のように、スチームトラップからの放熱もなく省エネルギーを図れます。

熱媒油は温度が100℃上昇するごとに約10%膨張します。この膨張を吸収するため膨張タンクを設けますが、内圧がかからないようにするため、大気開放しなければならないと共に、熱媒油の高温酸化を防ぐには空気に接触しないようにしなければなりません。そこで、**サーモヒーター**では膨張タンクと油だめとを次のように関連させています。

図1 配管系統

オーバーフロー管は油だめの大きい方の部屋に接続されており油だめ中の大小部屋間の接続は隔壁の連通孔で行います。なお、油だめは地下に設置することもできます。

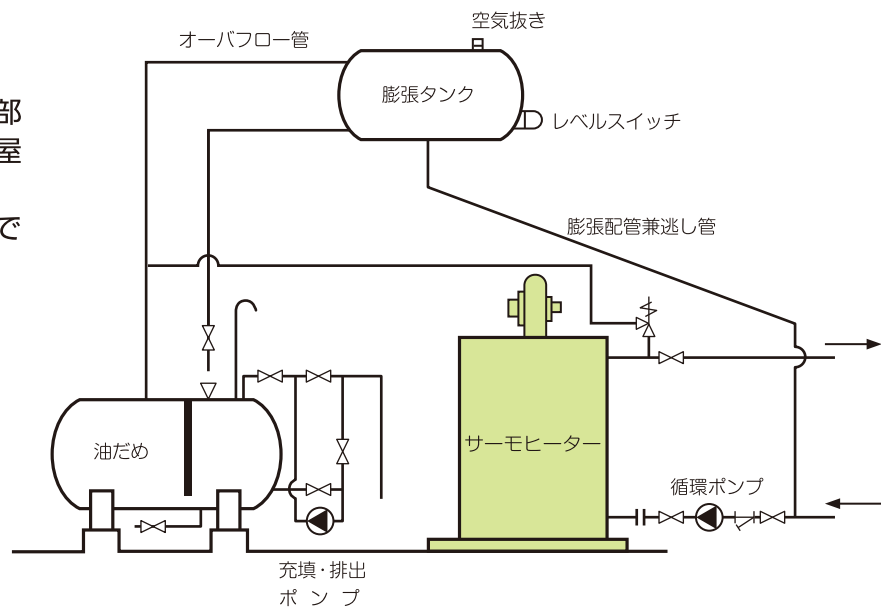


図 1

図2 始動時

始動時の状態を示します。運転をはじめてからしばらくの間は膨張タンク上部の空気抜きを開き、発生したガスを逃がせるようにします。

図3 運転中

空気抜きプラグを閉めたのちは、加熱されると共に熱媒油は膨張して膨張タンク内に内圧を生じます。この圧はオーバーフロー管を通じて油だめに伝わり、熱媒油は底部の連通孔を通して小部屋を上昇し、圧が平衡になったところで止ります。高温の熱媒油は両タンク内にとじ込められた空気からは酸素を吸収しますが、外気には触れることなく、酸素量は極めて少ないので重大な結果は生じません。プラントを停止すると熱媒油は冷却収縮し、図2にもどります。以後、新しい空気は熱媒油をドレンした時以外には入りません。

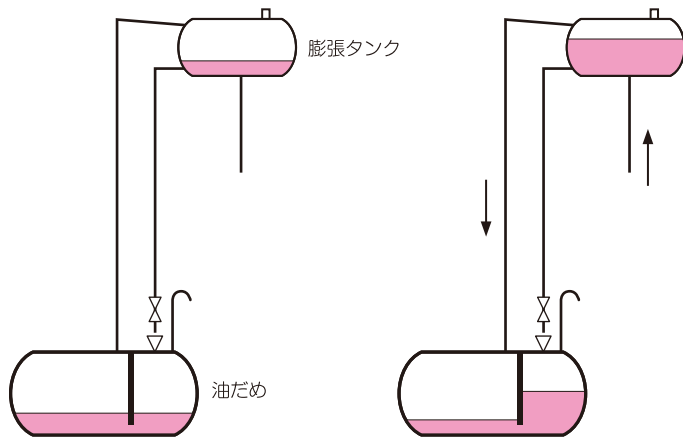
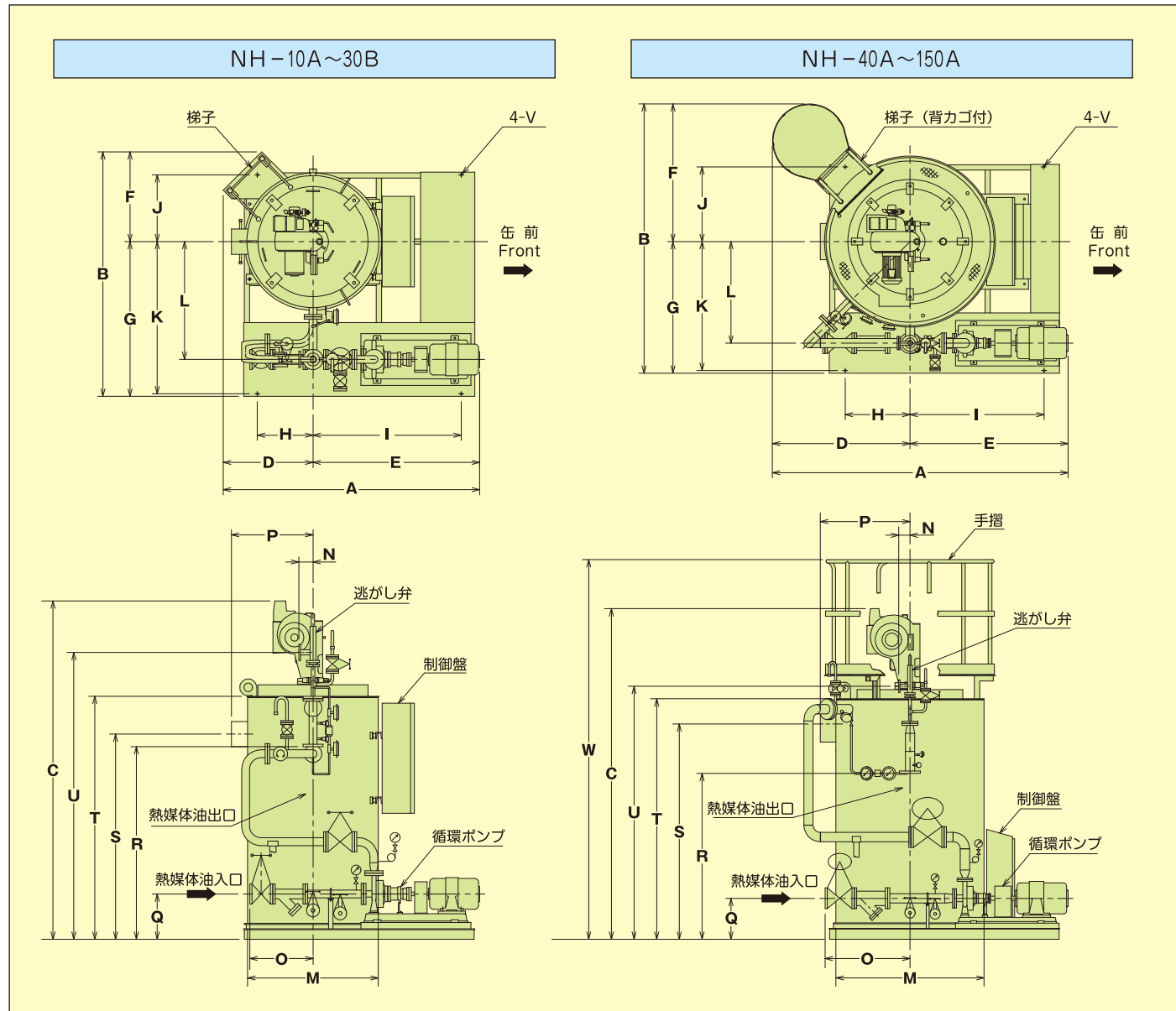


図 2

図 3



型式	記号	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
NH- 10A		1704	1448	1818	525	1179	438	1010	290	1050	375	990	732
NH- 20A	1909 (1930)	1783	2218	663	1246 (1267)	663	1120	395	1125	485	1100	842	
NH- 30A	1959 (1980)	1888	2613	693	1266 (1287)	693	1195	430	1145	515	1175	912	
NH- 30B	1955 (1976)	1884	2483	689	1266 (1287)	689	1195	430	1145	515	1175	912	
NH- 40A	2165 (2186)	1875	2777	889	1276 (1297)	740	1135	510	1105	605	1110	850	
NH- 60A	2855	2599	3199	1329	1526	1329	1270	625	1290	720	1245	980	
NH- 80A	2904	2718	3539	1378	1526	1378	1340	695	1290	790	1315	1050	
NH-100A	3007	2831	3775	1421	1586	1421	1410	755	1345	850	1385	1105	
NH-125A	3181	2971	4200	1481	1700	1481	1490	785	1450	930	1465	1180	
NH-150A	3420 (3331)	3214	4550	1559	1861 (1772)	1559	1655	900	1640	1045	1630	1300	

単位:mm

型式	記号	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W
NH- 10A		φ 726	110	505	490	361 (341)	1016	1055	1346	1691	φ19	—
NH- 20A		φ 942	110	505 (484)	600	371 (351)	1182	1225	1516	1857	φ19	—
NH- 30A		φ1009	110	510 (489)	630	371 (351)	1488	1585	1876	2220	φ19	—
NH- 30B		φ 987	110	510 (489)	620	371 (351)	1301	1394	1746	2033	φ19	—
NH- 40A		φ1195	110	780 (739)	750	396 (376)	1334	1789	1981	2170	φ19	—
NH- 60A		φ1430	110	820	865	396	1602	2079	2321	2448	φ19	3666
NH- 80A		φ1568	110	820	935	396	1909	2419	2661	2755	φ19	4006
NH-100A		φ1684	110	1061	1000	416 (396)	1961	2686	2941	2992	φ19	4286
NH-125A		φ1859	110	1201	1080	426	2313	3076	3369	3344	φ19	4701
NH-150A		φ2082	110	1226	1190	461 (426)	2580	3317	3606	3611	φ19	4941

- ※1 本図は押込みパッケージ型A重油焚の寸法を示し、（ ）付寸法は60Hz時を示しています。
 2 NH-10Aは梯子、NH-40Aは手摺および梯子の背カゴが付属されません。
 3 NH-20BおよびNH-200C以上の寸法につきましては、各営業所までお問い合わせください。
 4 上記寸法は改良のため予告なく変更する事があります。

オイル焚サーモヒーター

最適の機種をお選びください

要 目 表

型 式				NH-10A	NH-20A	NH-20B	NH-30B	NH-30A	NH-40A
項 目									
設 計 圧 力 MPa				0.98					1.2
最 高 使 用 温 度 ℃				300			280	300	
熱 出 力 ※1 kW				116	233	233	349	349	465
質 量 ton				0.56	0.83	0.88	1.1	1.2	1.6
出 入 口 管 径 A				40	40	65	50	50	65
排 気 口 口 径 mm				φ195	φ195	φ195	φ195	φ195	φ250
煙 突 頂 上 口 径 ※2 φmm				250	250	250	300	300	385
本 体 圧 損（液 柱） m				30	21	10	22	22	15
出 入 口 温 度 差 ℃				29	40	20	40	40	27
熱 媒 油 保 有 量 ℓ				45	100	100	130	180	320
バ イ ナ	燃 料			灯油、A重油					
	燃 料 消 費 量 ※3 ℓ/h			15.0	30.2	30.2	45.2	45.2	60.2
	電 気 容 量	バーナ モータ	灯油、A重油 kW	0.4	0.75	0.75	1.0	1.0	1.5
		オイル ヒータ	A重油 kW	0.5	1.0	1.0	1.0	1.0	2.0
熱 媒 油 循 環 ポ ン プ	流 量 m³/h			7	10	20	15	15	30
	全揚程（液 柱） m			45					
	電動機容量 ※4 kW			3.7	5.5	7.5	5.5	5.5	7.5
熱 媒 油 充填排出 ポ ン プ	流 量 m³/h			3					1.44 (1.2)
	全揚程（液 柱） m			30					50
	電動機容量 kW			手動式					0.75
制 御 用 電 気 容 量 kW				0.5					
適 用 法 規				簡易ボイラ	小型貫流温水ボイラ			貫流温水ボイラ	
取 扱 資 格				－	小型ボイラ特別教育			ボイラ取扱技能講習	

(注) ※1 熱出力は最高使用温度が300℃の場合を示します。300℃を超える場合は熱出力が変わりますので、詳細についてはお問い合わせください。(NH-30Bのみ280℃)

※2 NH-60A以下は横引き3m、煙突高さ8m、NH-80A以上は横引き3m、煙突高さ10mの場合の口径です。

燃焼に必要な高さは、煙道横引き3mの場合、ボイラ煙道高さは6m程度です。但し、法・条令による規制に従ってください。

※3 灯油焚きの場合を示します。燃焼消費量は低位発熱量43,500kJ/kg、比重0.8で算出しています。

※4 ()内の数値は50Hzの場合を示します。

(備考) ●上記仕様は改良のため予告なく変更する事があります。

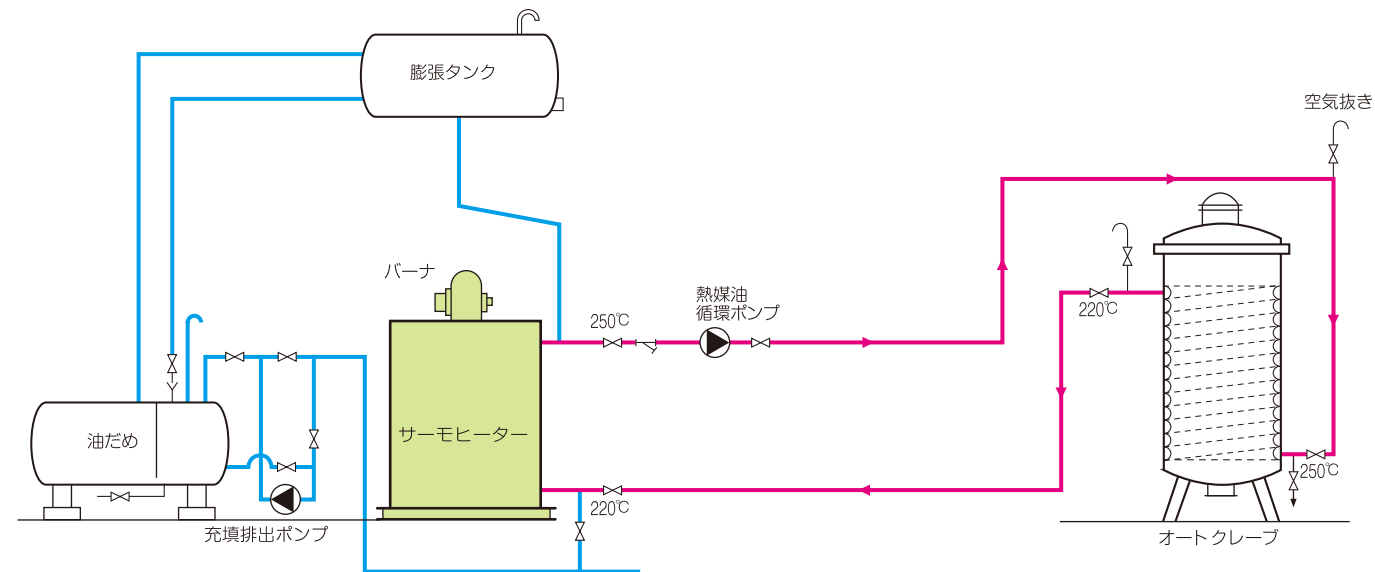
NH-60A	NH-80A	NH-100A	NH-125A	NH-150A	NH-200C	NH-250C	NH-300C
1.2							
300							
698	930	1,163	1,453	1,744	2,326	2,907	3,488
2.4	2.9	3.9	5.5	6.7	10	13.2	17.5
80	80	100	125	125	150	150	200
φ350	φ350	φ375	φ425	φ425	350×550 □	500×500 □	500×720 □
385	480	570	570	640	640	770	770
17	21	16	21	24	20	23	21
27	30	27	25	24	27	30	29
620	900	950	1,300	1,850	2,100	2,750	3,850
灯油、A重油							
90.3	120.3	150.4	187.9	225.6	300.8	376.0	451.1
2.2	3.7	3.7	3.7	5.5	11+1.5	15+1.5	18.5+1.5
2.0	3.0	4.0	5.0	－	－	－	－
45	55	75	100	125	150	175	210
45	50						
11	15	18.5	22	30	37	45	55
1.44 (1.2)					3		
50					30		
0.75					1.5		
0.5							
貫流温水ボイラ							
ボイラ取扱技能講習		2級ボイラ技士					

システム プラントに最適のシステムをお選びいただけます

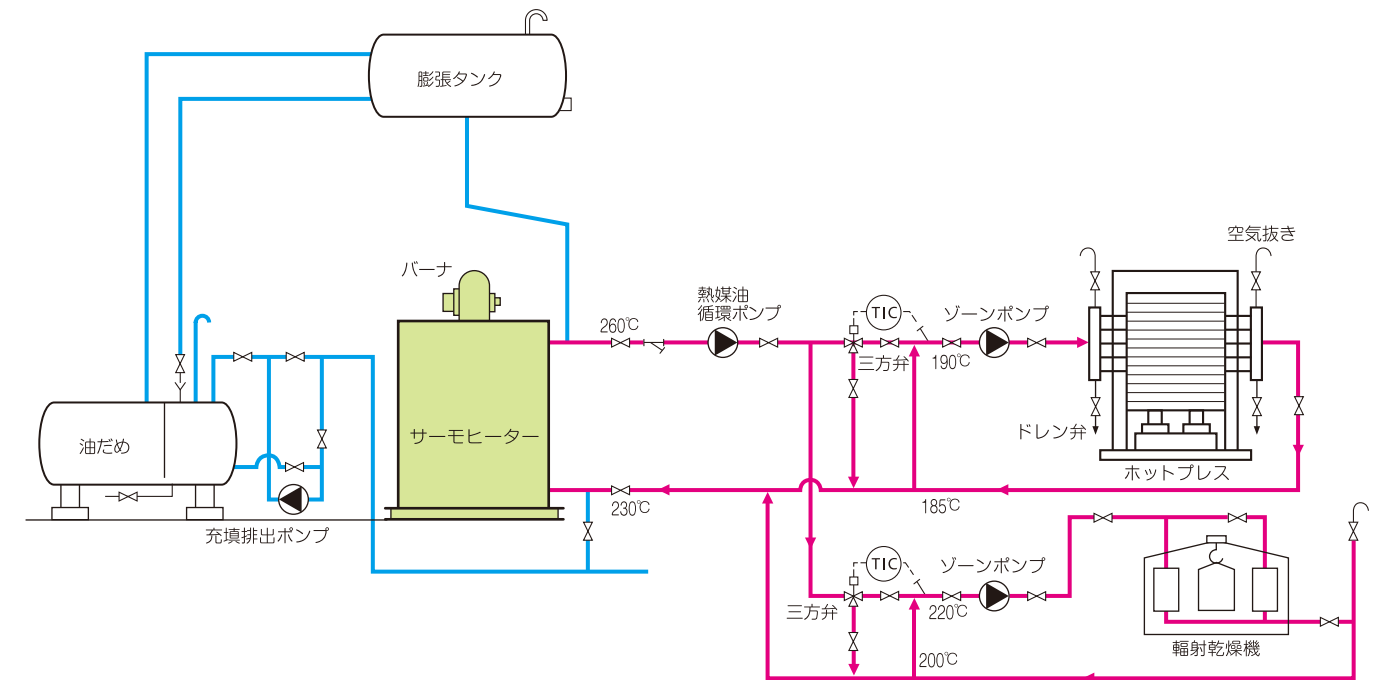
サーモヒーターから熱使用装置への熱媒油配管やその制御方法は、熱使用装置の数・容量・温度差・温度精度・増設予定などによって、それぞれ最適のものとする

ことが極めて大切です。当社は豊富な経験を基にして、みなさまのプランとにとって最適のシステムをエンジニアリングいたします。

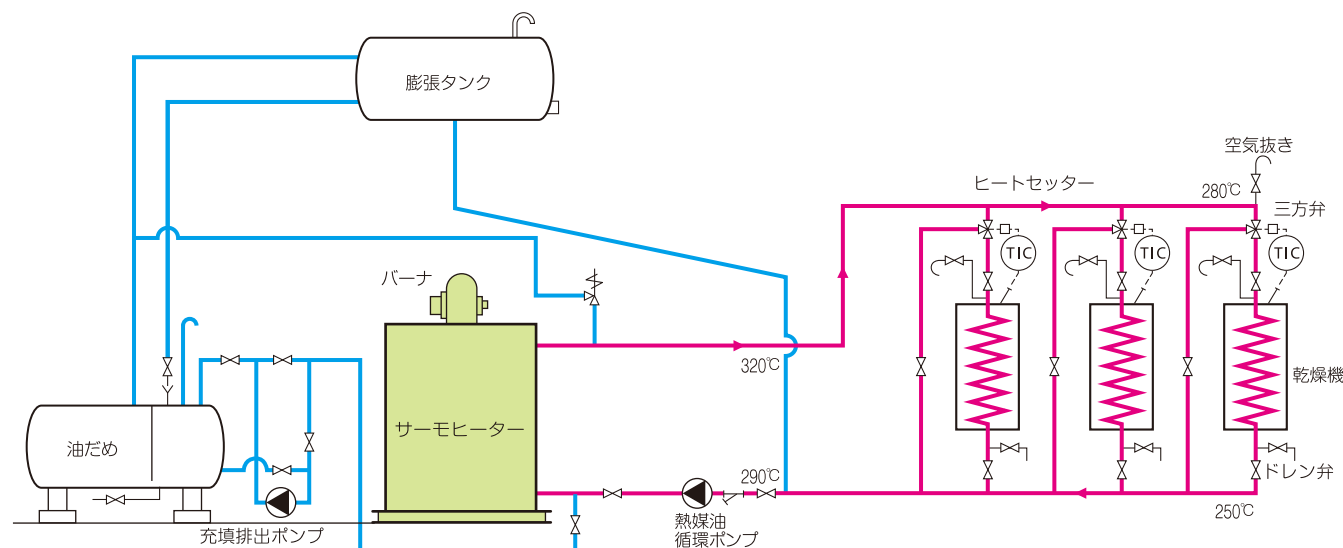
負荷と直結して使用する場合



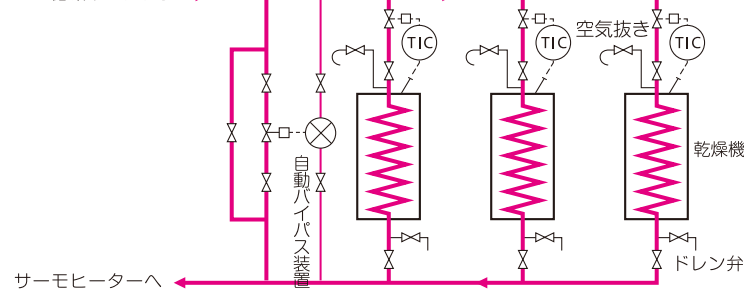
ゾーンポンプを使用して流体の温度を変え混合制御を行なう場合



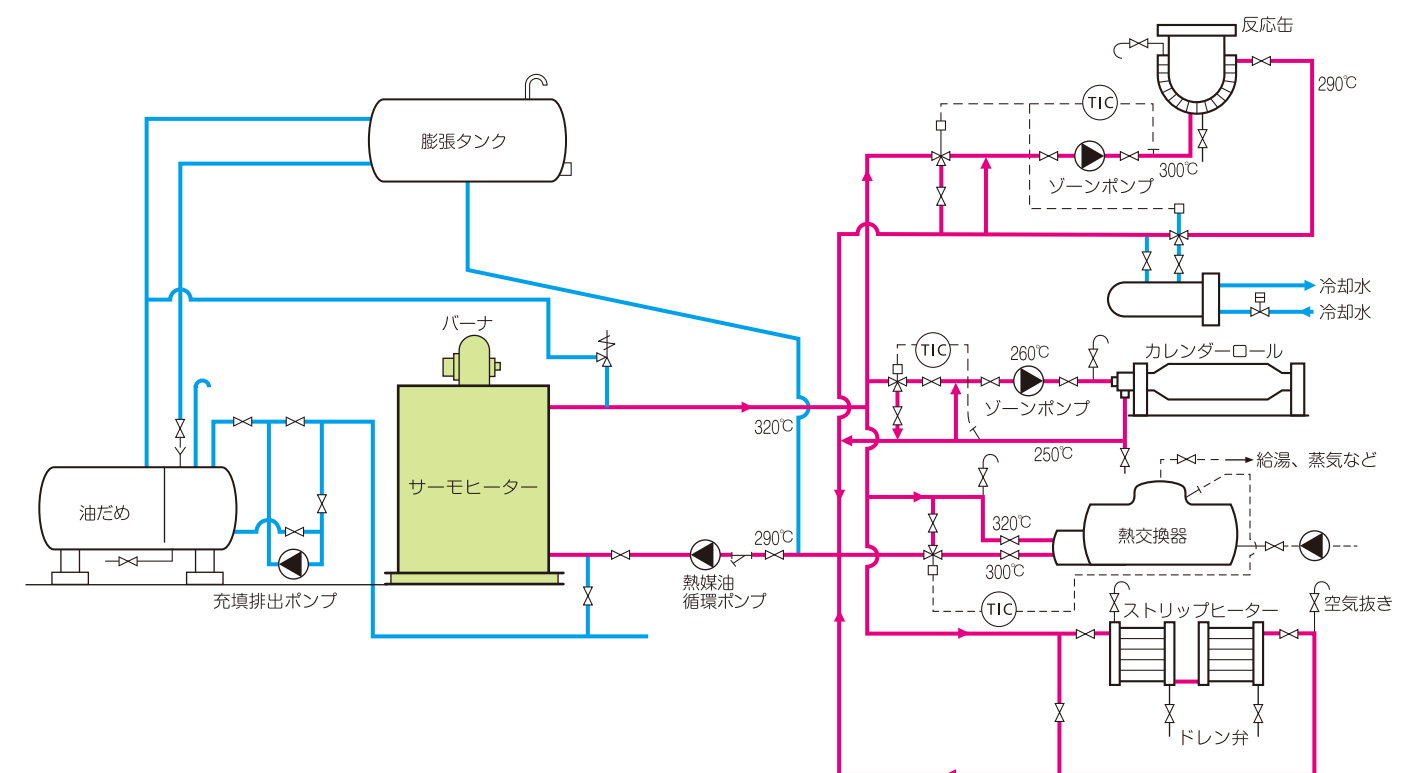
三方弁(または二方弁)を使用して流量制御を行なう場合



用途によっては、この図のような方法も利用できます。



温度・流量など使用条件の違う種々の用途に使用する場合



ガス焚サーモヒーター

大気汚染を未然に防ぎます

サーモ ヒーターは卓越した性能、安定性、プラント応用技術などが認められて世界各国をはじめ、わが国のあらゆる産業分野で広くご愛用いただいております。その中には、数多くの《ガス焚》が次のような特長を活かしつつ活躍しています。

ガス焚、油焚切替が可能

1つのバーナでガス焚、油焚の両配管を行い随時切替運転ができるバーナも対応できます。

公害の心配がありません

ガス焚なのでススの発生がなく清潔さを要求される工場などにぴったりです。また亜硫酸ガスの発生も少なく、大気汚染を完全にシャットアウトします。

寿命がより長くなります

高性能のガスバーナの採用と相まってススを発生しないので、コイルにススの付着が少なく、高効率を持続します。

絶対安全を誇ります

ガスを使用するため、安全面には特に考慮を払っていますからオイル焚と同様に安心してご使用いただけます。

各種のガスが使えます

都市ガス、天然ガス、LPガスのいずれも使用できるほか、特殊なガスにつきましてもその都度、ご相談をお受けいたします。

高性能を誇ります

つねに高い効率を保ちます。ガスは完全燃焼いたしますから燃料にムダがありません。**(排熱回収装置をつけた効率90%以上の省エネルギータイプも対応できます)**

要 目 表

項 目		型 式	NH-10A	NH-20A	NH-20B	NH-30B	NH-30A	NH-40A	NH-60A	NH-80A	NH-100A	NH-125A	NH-150A	NH-200C	NH-250C	NH-300C
最高使用温度		℃	300			280	300									
熱 出 力 ※1		kW	116	233	233	349	349	465	698	930	1163	1453	1744	2326	2907	3488
燃 料 消 費 量 ※2	天然ガス	13A	12.9	25.9	25.9	38.7	38.7	51.6	77.4	103.1	129.0	161.1	193.4	257.9	322.3	386.7
	LPガス	LPG	5.6	11.2	11.2	16.8	16.8	22.4	33.6	44.7	55.9	69.8	83.8	111.8	139.7	167.6
必要ガス圧力 ※3	天然ガス	13A	2					6					20			
	LPガス	LPG	2.8					6					6			
配 管 サ イ ズ A ※4	天然ガス	13A	20	32	32	50	50	40	50	65	65	65	65	65	80	100
	LPガス	LPG	20	25	25	32	32	50	50	65	80	80	80	80	80	80
バ ー ナ 電 気 容 量 kW		天然ガス 50/60Hz 共通 LPガス	0.75	0.75	0.75	1.5	1.5	2.2	2.2	3.7	3.7	3.7	5.5	7.5	7.5	11.0

(注) ※1 熱出力は最高使用温度が300℃(NH-30B型は280℃)の場合の熱出力を示します。300℃を超える場合には熱出力が変わります。詳細についてはお問い合わせください。

※2 ガスの総発熱量(下記で算出しています)

天然ガス(13A) 低位発熱量 40,600kJ/Nm³

LPガス(LPG) 低位発熱量 93,700kJ/Nm³

※3 ヒーター本体、ガス入口弁の必要供給圧力を示します。

※4 配管サイズはストレーナの接続口径を示します。

(備考) ●質量、寸法、出入口管径、排気管口径は一部の機種を除きオイル焚と同じです。

●標準外仕様につきましては、油焚と同様の仕様で製作できます。

●上記各仕様は改良のため予告なく変更する事があります。

各種熱媒油の性状

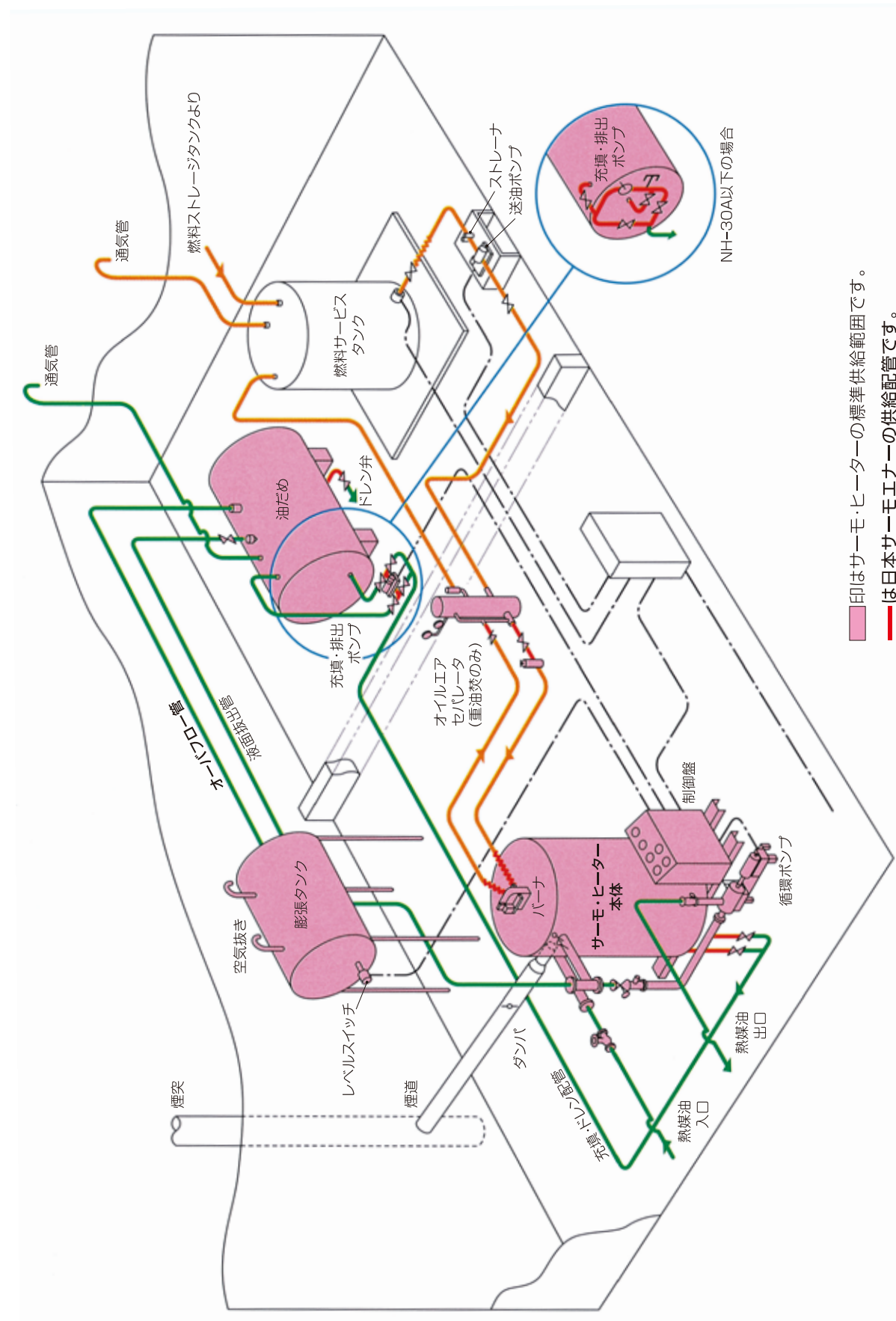
最も適合した熱媒油を選べます

熱媒油の分類		合 成 系						石 油 系																			
メーカー名	銘柄	松村石油	松村石油	松村石油	松村石油	出光興産	出光興産	昭和シェル石油	松村石油	松村石油	松村石油	松村石油	出光興産	エクソンモービル	昭和シェル石油	コスモ石油	新日本石油										
最低使用温度℃	最高使用温度℃	バーレルガーム 200	バーレルガーム 400	バーレル シリコンフルード ST	ダフニー アルファサーム 32B	ダフニー アルファサーム 66	シェル サミーヤオイル X-Z (指定可燃物)	サームオイル 20	サームオイル 34AH (指定可燃物)	ダフニー サミーヤオイル 68	エッソサーム 500	サーミヤオイル B	コスモサーム 32	ハイサーム 68													
		10	10	10	0	-30	-10	-5	-10	-5	-10	-10	-5	-2.5													
流動点℃	沸点℃	290	340	-	280	345	270	280	250	300	315	320	300	300													
		320	370	427	-	290	300	270	330	340	350	340	320	370													
引火点℃	燃点℃	206	210	178	214	186	266	204	256	240	220	216	230	268													
		1.62	1.58	1.47	16.1	396	1.52	307	1.73	307	1.55	276	1.62	999	1.58	270	1.59	229	1.57	330	1.61	1,000					
0	20	1.63	88.0	1.63	47.0	1.51	10.7	1.65	88.0	1.58	62.0	1.76	88.0	1.60	51.0	1.60	83.3	1.66	175	1.63	75.0	1.63	64.2	1.62	87.0	1.65	206
		1.68	31.0	1.68	18.0	1.51	7.63	1.69	30.0	1.63	20.0	1.79	34.8	1.64	20.0	1.63	34.0	1.70	68.0	1.66	28.9	1.67	26.0	1.67	32.9	1.69	65.2
40	60	1.74	15.0	1.73	8.40	1.51	5.69	1.72	14.0	1.75	9.20	1.81	17.2	1.68	10.0	1.67	17.1	1.71	26.0	1.69	14.0	1.71	12.5	1.72	15.5	1.73	27.5
		1.80	5.00	1.82	3.10	1.51	3.46	1.79	4.70	1.77	3.20	1.87	6.32	1.75	4.10	1.73	6.42	1.80	9.40	1.76	5.21	1.77	4.64	1.80	5.60	1.81	8.36
100	150	1.89	2.10	1.93	1.40	1.50	2.09	1.87	2.00	1.88	1.40	1.90	2.82	1.83	1.50	1.80	2.95	1.88	3.90	1.83	2.35	1.85	2.17	1.90	2.50	1.89	3.32
		1.97	1.20	2.00	0.82	1.49	1.36	1.93	1.20	1.97	0.88	1.96	1.65	1.89	1.10	1.87	1.71	1.95	1.80	1.89	1.38	1.91	1.18	1.96	1.40	1.96	1.82
200	250	2.02	0.82	2.08	0.58	1.45	0.95	1.98	0.83	2.05	0.63	2.00	1.13	1.95	0.78	1.92	1.16	2.01	0.92	1.94	0.94	1.97	0.70	2.01	1.00	2.02	1.20
		2.07	0.68	2.12	0.48	1.42	0.78	2.01	0.71	2.09	0.55	2.01	0.92	1.98	0.64	1.95	0.96	2.04	0.65	1.96	0.78	1.99	0.50	2.03	0.80	2.06	0.98
280	300	2.07	0.61	2.15	0.44	1.40	0.70	2.02	0.64	2.12	0.51	2.02	0.82	1.99	0.58	1.96	0.85	2.08	0.50	1.97	0.68	2.01	0.40	2.05	0.70	2.08	0.88
		-	-	2.17	0.40	1.37	0.63	-	-	2.14	0.47	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.98	0.61	2.02	0.30	-	0.60	-
320	340	-	-	2.18	0.37	1.34	0.57	-	-	2.16	0.45	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	2.18	0.37	1.34	0.57	-	-	2.16	0.45	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) ※1 表記載のほか、種々の銘柄があり、ジャパンエナジー、BP、ダウなど世界的に有名な会社の熱媒体油はすべて用いることができます。

ご使用の用途に最も適合した熱媒体油を選ぶことが大切です。ご不明の場合はご相談ください。

※2 上記最高使用温度の項は各熱媒体油メーカー公称値を示します。長期的に見た場合は、バルク温度から若干の余裕を見て常用値を設定されることが望ましいと考えます。



トータル保守管理システム

サーモヒーターから熱媒油設備への油配管制御方法は設備の数・温度条件によって異なります。
弊社では、豊富な経験に基づき、最適なエンジニアリングをご提供しております。

サーモヒーターと熱媒油設備をいつまでも最高の状態で
ご使用いただくために、
トータル保守管理システムをご提案いたします。

保守契約にご加入いただくと…

質の高い メンテナンスで安心

経年による機能低下・劣化を抑え、トラブルを予防し、機器の高効率稼働を維持します。

迅速対応

保守契約にご加入いただければ
万一の事故でも、
すみやかに対応します。

お支払いが 便利

年1回～12回の自動口座振替

保守管理内容

サーモヒーター本体・熱媒油管理・付属設備をトータルで保守管理いたします。

1

サーモヒーター 本 体

性能検査準備、受検 1回／年
保守点検 1回／年
ばい煙測定 2回／年

2

熱媒油管理

熱媒油分析 1回／年

3

付属設備

保守点検 1回／年